

より住み良い花西まちづくりのためには住民によるボランティア活動が重要です。

花西地区まちづくり協議会
事務局長 阿部 彌之

昨年10月に、各自治会（町内会）が抱える課題を出し合い解決の糸口を探すことを目的とした「複数町内意見交換会」が開催されました。会の様子は4ページに掲載しておりますのでご覧ください。

意見交換会では少子高齢化の進行にともなう様々な問題が出されましたが、どの自治会でも困っているのは「除雪」のことでした。花西地区まちづくり協議会ではボランティア活動の支援を行っており、除雪作業も支援対象になっております。

そこで、今回は当協議会の重点活動でもある「ボランティア活動の支援」について説明します。

1. 当協議会が支援するボランティア活動について

- ① 草刈り
- ② 環境整備（花壇整備など）
- ③ 除雪

2. 当協議会の支援内容について

- ① ボランティア保険料の支給（20名以内）
- ② 1時間以上の労力提供に対して一人1,000円支給
ただし、一つの自治会（町内会）への年間支給上限は上記①～③各50,000円とする。

3. 申請手続きについて

- ① 作業実施前に申請書（様式あり）を自治会を通して当協議会に提出し、承認を得ること。
- ② 作業終了後は報告書を協議会に提出すること。
- ③ 除雪作業については、申請書の提出は事後でも可とすること。

住み良いまちづくりのためには、そこに住む住民自らが持てる力を出し合い、好ましい環境づくりをするボランティア活動が欠かせません。ボランティア活動に対する花西地区まちづくり協議会の支援は始まったばかりです。各自治会（町内会）におかれましては、当協議会の支援を積極的に活用いただくようお願いいたします。今後とも皆さまからの建設的な提案をお待ちしております。

第1回

「花西地区の魅力あふれる光景 写真コンテスト」

入

賞

作

品

最優
秀賞

「花西地区のまちなみ、自然、まちに暮らす人々の生活、地域行事や祭りの模様など、花西地区のまちを象徴し守り伝えたい景観の魅力」をコンセプトに、応募者数23人・応募作品56点の中から、次の方々が入賞されました。
おめでとうございます。

「夕陽にあたる市民の家」
佐藤 啓二 さん(材木町)



【作品コメント】

旧庁舎は花巻市民の憩いの場所で多くのサークルが利用している古き良き市民の家です

「健康は笑顔と
正しい食事から」
石原 黎子 さん(南万丁目)

優秀
賞

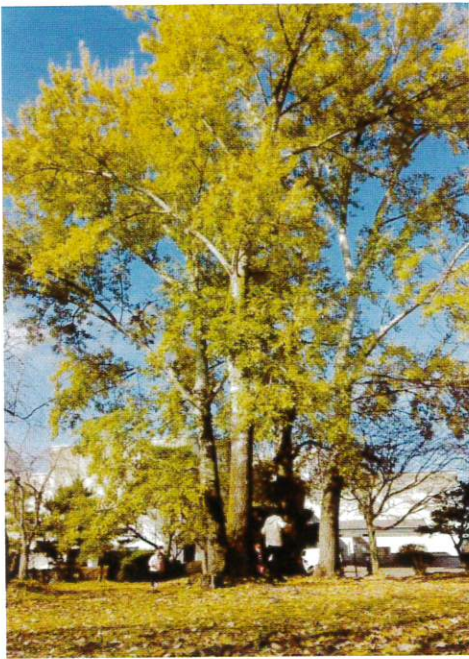


【作品コメント】

食生活改善推進委員の指導による「高血圧を予防する季節の食事」。

協力して美味しく仕上げた満足と、この後の味見への期待。みなさんの満面の笑顔です。

佳作



「大きなぎんどうの木の下で」
高橋 陽子 さん(南万丁目)



「春・桜満開」
八重樫 新治 さん(藤沢町)



「いらいらするなぁー」
小岩 紘 さん(北万丁目)

12月16日(日)花巻市文化会館中ホールにて、表彰式が行われ、受賞者には賞状と副賞がそれぞれ贈られました。



また1月21日～2月1日の二週間、花西振興センターにて応募作品56点の展示会を開催しました。



第1回「花西地区の魅力あふれる光景写真コンテスト」・展示会終わる。

4月の総会で実施を決め、7月に実施要項を作り、お祭等自治会活動が活気で盛り上がっている頃に標記「写真コンテスト」を開催しました。日常見慣れている風景や町内会(自治会)行事に、きらっと光るものや伝えたい町の顔があるはずだと思い、この企画を考えました。

2018年4月から11月までのこの花西地区の人と風景を記録として大切に保存します。又、来年度も計画したいと考えていますので、ぜひ応募して花西の魅力をお教え下さい。

(阿部 彌之事務局長)

『花西地区複数町内意見交換会』

各会場で行われた「意見交換会」の様子を紹介します。

『若葉町・西大通り・材木町意見交換会』 10月17日（水）会場：若葉会館 出席者43名

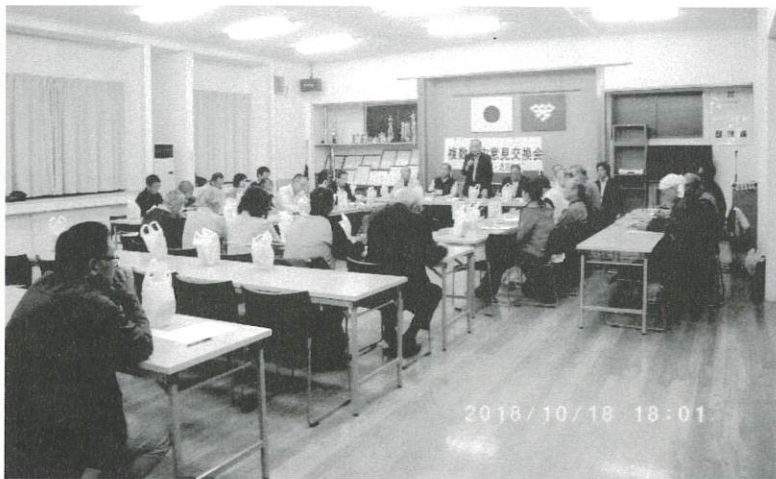
ごみ問題（他地区者のごみ、無分別等）対策として監視カメラの設置が挙げられました。

防災については、複数自治会の自主防災関係者による情報交換会の開催や、消防団を交えた7地区合同の防災訓練の実施などの要望がありました。

また、自治会の担い手不足を解消するための方策として、40・50代の集会の開催や、当協議会の事業内容を小中学生や保護者、PTAなどにプレゼンテーションする場を設けるなどの提言がなされました。



『北万丁目・南万丁目意見交換会』 10月18日（木）会場：南万丁目自治会館 出席者 37名



広域自治会であるため、高齢者の一人暮らしが増えるなか、行方不明者（認知症など）対策として地域が今まで以上に注意深く見守っていく必要がある。

部活や習い事で帰宅が遅い子どもがいるので、夜間のパトロールや防犯灯など安全対策の強化が挙げられました。

その他に役員の担い手不足、新築住宅の増加によるごみ集積所の土地確保など、さまざまな課題が出されました。

『石神町・藤沢町意見交換会』 10月19日（金）会場：いしがみ会館 出席者 24名

高齢者については、次の2点があげられました。一人暮らしの高齢者が病気やケガをした場合に自ら助けを求められない心配があること。運転免許証の返納が推奨されているものの、通院や買い物にどうしても車が欠かせないこと。

豊沢川沿いに位置する藤沢町と石神町は、浸水地域になっており、日頃から防災意識を高めていかなければならない。水害など災害時には、高齢者を安全・迅速に避難誘導する支援体制作りを急ぐ必要がある。防災の意識喚起の具体的な方法として、藤沢町では「防災運動会」を実施している。

